

令和5年8月22日
島根県医療政策課

令和5年度 地域医療介護総合確保基金(医療分)の内示状況

1 R5年度概要

- ・基金残高(㉔)及び当初予算(㉕)を踏まえて事業の継続実施に必要な額(㉖)を要望。
- ・国への重点要望において、ソフト事業への十分な配分を継続的に要望したところ、今回の内示は、ほぼ要望額どおりの配分(㉗)。

【主な事業】

ハード	区分Ⅰ	・病床再編整備（病床転換・病床削減等）への支援 ・しまね医療情報ネットワーク(まめネット)の整備等	} 造成済の基金で実施
	区分Ⅰ-2	・病床機能再編支援事業	
ソフト	区分Ⅱ	・訪問診療、訪問看護等に必要な設備整備費の支援 ・中山間地域等における訪問診療、訪問看護の運営費の支援	} 今回配分額を積み増して実施
ソフト	区分Ⅳ	・県内で地域医療に従事する意志のある大学生等への奨学金の貸与 ・離島等の医療機関へ診療応援に行く非常勤医師の交通費の支援	
ソフト	区分Ⅵ	・勤務医の労働時間短縮に取り組む医療機関への支援	

2 要望額及び内示額（内示日：8月3日）

※事業費（国費＋県費）ベース

（単位：百万円）

事業区分	R4末 基金残	R5 当初予算	R5計画 要望額 a	内示額 b	増減 c=a-b	内示率 d=b/a	R5末 残額見込
I-1. 施設設備整備	1,338	487	0	0	—	0	851
I-2. 病床削減等	0	182	94	94	—	100%	—
II. 在宅医療の推進	64	148	148	146	0	99%	62
IV. 医療従事者の確保	436	806	806	798	0	99%	428
VI. 働き方改革	145	89	89	89	0	100%	145
合計	1,983	1,712	1,137	1,127	0	99%	1,486

㉔

㉕

㉖

㉗

㉔+㉕-㉖

3 県の対応

- ・厚生労働省に令和5年度事業計画書を提出の上、事業を実施。
- ・今後も医療従事者の確保や在宅医療の推進などのソフト事業に取り組むため、区分Ⅱ・Ⅳ・Ⅵについて、令和6年度以降の配分における必要額確保を引き続き要望。